



# 羽咋高校 同窓会だより

Vol.  
**35**  
5月  
2018



▲移転から48年目の現校舎 撮影：川島力宏氏（高45回卒）

## ▶ contents

|                  |   |
|------------------|---|
| 大学入試合格状況         | 2 |
| 協力金Q&A           | 4 |
| 193人が同窓会新加入      | 5 |
| 7月15日に総会開催       | 5 |
| 各地の同窓会開催予定       | 5 |
| 御礼！協力金のご芳志       | 6 |
| 羽高魂！スポーツと文化活動の軌跡 | 8 |
| 新校長に釜親 徹氏        | 8 |



▲93年前、旧制羽咋中学校本館として新築なった旧校舎前景

石川県立羽咋高等学校 ●学校創立 昭和23年（1948）4月1日 ●創立記念日 6月17日（昭和23年に開校式が行われた日）

●卒業生数 旧制羽咋中学校 1,996名 旧制羽咋女学校 1,943名 新制石川県立咋高等学校 24,640名（平成30年3月現在）

●在籍生徒数 593名（平成29年度）

●ホームページ <http://www.uko-dosokai.net> E-mail [hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp](mailto:hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp)

# 変化する羽高同窓会

同窓会会長 轟 千栄子

初夏の日差しが風に揺れる木々の葉にまぶしく反射して、さわやかな季節の到来を告げています。

みなさまお元気でお過ごしでしょうか。多くの同窓の方々には「初めまして」のご挨拶になります。昨年7月の本部総会で承認いただきました羽咋高等学校同窓会会長に就任しました轟千栄子です。羽咋市川原町出身で高校のほど近くに小児科診療所を開業しています。昨年は各支部総会にも出席させていただきました各地で活躍するみなさんの熱い思いにふれることができました。

そしてこの3月、同窓会長として初めて高校の卒業式に列席させていただきました。卒業生を拍手で迎えた時には40年以上の時を越えてあの感慨が甦りました。厳しい時代の中で巣立つ後輩たちの前途に光あれ、とその活躍と幸せを願わずにはいられない貴重な経験でした。

卒業式で私の祝辞を聞いてくださった何人かの保護者の方から声をかけていただき、嬉しく思うと同時に保護者の方々からも信頼していただける同窓会でなければと思いを新たにしています。

さて、この同窓会だよりを初めて手にされた方もいらっしやると思います。昨年、運営協力の制度が始まり、それを受けて今年からすべての卒業生に同窓会だよりをお送りす



ることになりました。今回はその初めての回となります。時間的な制約もあり十分な内容ではないかもしれませんが新しい体制のスタートです。今後は同窓会のみなさんをつなぐ情報誌として成長していきたいと思えます。秋にはホームページもリニューアルいたします。学校の様子や各支部の活動状況などリアルタイムにお届けできるように準備を進めます。

もし、ご存知の同窓生で「同窓会だより」が届いていないという方がいらっしやいましたら事務局までお知らせください。お仕事や生活の基盤が変わられて住所を把握できない方も多くいらっしやいます。この機会にぜひ情報をお寄せください。

同窓会では運営協力を有効に使いながらいつも同窓生のみなさんの心の底にある母校への思いを形にできるように活動していきたいと考えています。

あわせて今年も本部同窓会、各支部の総会への多くのみなさんご参加をお待ちしております。

## 平成29年度進路の状況 国公立大学に77人合格

1 進学実績目標の達成度

センター試験の結果が厳しく、金沢大学に出願が難しくなった。ただ、学習環境を考えれば国公立大学の価値は普遍的であり、そのためホーム担任が繰り返し面談を行い、生徒・保護者共に全国に目を向ける指導の結果、前期合格者は昨年度より延べ数で3名増であった。

2 多様な入試制度の活用と結果

合格者数・合格率とも、この2年間は、成果が出ている。特に学力以外の特長の把握につとめ、出願先を研究し、面接指導・小論文指導を学校一丸となつて行っている成果である。今後ますます推薦重視の流れとなり、それを意識した指導が求められる。

3 3か年を見通した指導体制の構築

各学年の模試分析会に加えて、学力分析会、模試活用研究会、教員向け及び生徒向けの小論文講座等を開催した。

(石川県立羽咋高等学校 進路指導課)

# 伝統と革新

校長 釜親 徹

羽咋高校同窓生の皆様には、日頃より本校教育活動に對しまして、物心両面に渡り熱い応援を賜り、心より感謝申し上げます。

在校生は先輩方の応援に応えるべく、羽咋高校の教育目標の第一である「文武両道」を日々実践してくれています。今年度の大学受験では、名古屋大学、北海道大学、金沢大学を始め、77名の生徒が国公立大学に合格いたしました。また部活動においても29年度は剣道、なぎなた、陸上競技、ボクシング、少林寺拳法、将棋と、能登地区最多となる6つの部活動が全国大会に出場いたしました。特に、なぎなた競技においては、石川県代表として愛媛国体に2名の選手が出場し、団体準優勝という輝かしい成果を収めました。

ただ少子高齢化が進む現在、学校を取り巻く状況は決して安穩とはしてられないものがあります。幸いにも本校は、30年度も1学年5クラス規模を維持することができましたが、今年の能登地区における中学校卒業生の数は、平成29年に比べ、158名減少しており、羽咋郡市に限ってみても70名減少いたしました。今後加速度的に生徒数が減る中、いかに羽咋高校の魅力を地域の中学生や保護者にアピールし、優秀な生徒を確保するかが、喫緊の課題となっております。もちろん本校は、地域を代表する伝統校であります。伝統に甘んじているわけにはまいりません。私は伝統校であるからこそ、常に新しい取り組みを進め、革新を目指していく必要があると考えております。



そこで29年度からは地域に貢献する専門人材の育成を目指し、「医志未来塾」「教志未来塾」を立ち上げ実践的な活動を行いました。地域で安心して子育てをするためにも、医療と教育は根幹となる分野です。これまでも羽咋高校では数多くの優秀な人材を輩出して参りましたが、これからも継続的にこの2分野で活躍する人材を育成していくことは本校の使命の一つであると考えております。今年度からは、これに加え羽咋市との連携による「地域未来塾」も立ち上げ、高校時代から地域の大人達との交流やフィールドワークを通して、地域の将来を真剣に考える機会を多く作っていきたくと考えております。また、今年の入学生からは、いわゆる特別進学クラスを作り、今まで以上に生徒の進路志望や学力に応じた手厚い指導ができる体制づくりを推進していきます。

大きな節目となる100周年を4年後に控え、羽咋高校が今後とも地域の宝として輝き続けることができるよう、職員生徒一丸となつて、精一杯の努力をしていく所存でございます。同窓生の皆様におかれましては、今後ともご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

## ■大学等合格状況

|          |    |
|----------|----|
| 北海道大学    | 1  |
| 北見工業大学   | 1  |
| 名古屋大学    | 1  |
| 北海道教育大学  | 1  |
| 室蘭工業大学   | 1  |
| 群馬大学     | 1  |
| 千葉大学     | 1  |
| 上越教育大学   | 1  |
| 新潟大学     | 4  |
| 富山大学     | 16 |
| 金沢大学     | 10 |
| 福井大学     | 1  |
| 愛媛大学     | 1  |
| 青森県立保健大学 | 1  |
| 宮城大学     | 1  |
| 秋田県立大学   | 1  |

|          |    |
|----------|----|
| 群馬県立女子大学 | 1  |
| 高崎経済大学   | 2  |
| 富山県立大学   | 2  |
| 石川県立大学   | 1  |
| 石川県立看護大学 | 7  |
| 公立小松大学   | 12 |
| 都留文科大学   | 2  |
| 福知山公立大学  | 4  |
| 大阪府立大学   | 1  |
| 兵庫県立大学   | 1  |
| 岡山県立大学   | 1  |
| 国公立大学計   | 77 |

|           |     |
|-----------|-----|
| 明治大学      | 1   |
| 中京大学      | 1   |
| 京都産業大学    | 2   |
| 京都女子大学    | 2   |
| 立命館大学     | 10  |
| 龍谷大学      | 4   |
| 関西大学      | 2   |
| 近畿大学      | 3   |
| 関西学院大学    | 1   |
| その他の私立大学  | 214 |
| 私立大学合計    | 238 |
| 国公立短期大学合計 | 1   |
| 私立短期大学合計  | 25  |
| 専修学校計     | 19  |
| 総計        | 360 |
| 卒業生数      | 193 |

## ■就職状況

|     |   |
|-----|---|
| 公務員 | 1 |
| その他 | 0 |
| 計   | 1 |



# 運営協力金

# Q&A

昨年「運営協力金制度」が始まりました。在校生や私たち会員を取り巻く変化を踏まえてのことですが、各方面から関心や問い合わせが寄せられています。ここでは、Q & A形式で制度内容の説明を掲載します。

## Q1：どうして運営協力金を集めるのですか？

A1：昨年お送りした「同窓会運営協力金のお願い」にもありますように羽咋高校同窓会の主たる収入は卒業生が卒業時に納める入会金と終身会費のみで、その限られた収入の中で活動を行ってきました。これから同窓会として母校の支援や後輩のための活動を考える時、その原資として卒業生のみなさまに寄付をお願いしなくては立ちゆかないとの考えから役員会・常任委員会等で検討を重ね、一昨年の本部総会でご承認をいただき昨年この仕組みをスタートさせていただきました。

## Q2：運営協力金はどのように使われるのですか？

A2：①今年から卒業生全員に「同窓会だより」をお届けします。母校の現状や同窓生の近況・各支部の紹介など、同窓生と学校を、また同窓生同士をつなぐ情報誌として今後誌面を充実してまいります。また秋には同窓会のホームページをリニューアルし、みなさんからの情報もいただきながら同窓生の有益な情報交換の場として活用していきたいと考えています。将来的には可能な方には「同窓会だより」もホームページからダウンロードしていただくことにより、印刷・郵送の経費節減につなげていきます。

②同窓会として高校と連携を密にとりながら学校が必要としている支援を教育振興費（仮称）として支出します。具体的には現在羽咋高校が独自に取り組んでいる医師未来塾・教師未来塾・

地域未来塾の活動への補助、注目されている特進クラス先進校視察等研修費補助、部活動の遠征に必要なワゴン車の購入、就学支援金（給付型奨学金）、全国大会旅費等の補助など県費では支出が難しい費用についての支援が求められています。

- ③各支部への助成金、また役員の各支部総会出席のための旅費の補助
- ④創立100周年記念事業にむけての準備、積み立て羽咋高等学校は2022年100周年を迎えます。「羽高2022」プロジェクトとして周年誌の発行など具体的な計画を進めていきます。

## Q3：運営協力金は毎年集めるのですか？

A3：はい、今後も毎年協力をお願いしてまいります。A2にありますように毎年必要となる経費です。支出の内容については同窓会だより等でご報告してまいります。みなさんのご理解とご支援を心からお願いいたします。ただ協力金は会費ではありません、あくまで任意のご寄付です。ご都合のつく時にご協力いただければ嬉しく思います。なお、生徒からの会費は羽高2022記念事業の準備基金として積み立ててまいります。その他、疑問な点がありましたら事務局までお問い合わせください。

### ■同窓会事務局

TEL・FAX 0767-22-1422

E-mail [hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp](mailto:hakui55dosokai@festa.ocn.ne.jp)



## 運営協力金提出のお願い

今年も 一口1000円、一口以上 のご協力をお願いいたします。お手数ですが同封の振込票で郵便局よりお振り込みください。振込手数料はかかりません。

いつでも受け付けておりますが、事務処理上 **5月末までに** お振り込みいただけると幸いです。

## 7月15日に 定期総会開催

平成30年度の同窓会本部定期総会を下記のとおり開催いたします。総会は、同窓会の運営と執行に関する最高決定機関です。会員の皆さまにおかれましては、お誘いあわせのうえ、ぜひご出席くださいますようお願い申し上げます。

### ■総会・記念講演会

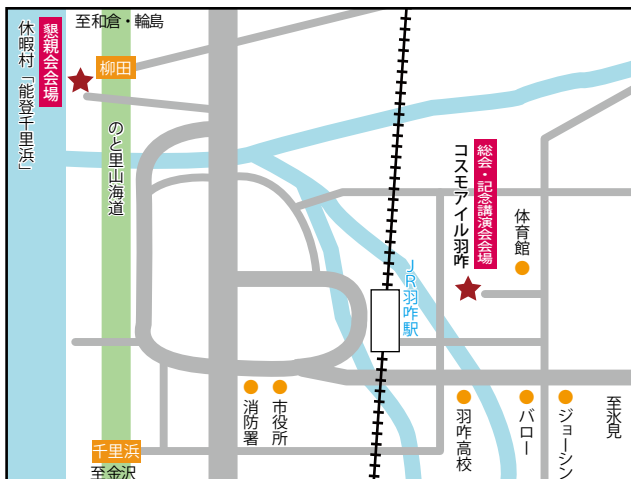
- ・日 時 平成30年7月15日（日）  
午前10時～
- ・場 所 コスモアイル羽咋ロンドンホール  
羽咋市鶴多町免田25 ☎0767-22-9888
- ・通常総会 午前10時～  
議題 平成29年度決算報告、平成30年度予算・事業計画ほか
- ・記念講演 午前11時～  
講師 慶応義塾大学教授  
菊澤研宗氏（高28回卒）  
演題 「日本軍に学ぶ組織の不条理」



**講師：菊澤研宗氏 プロフィール**  
きくざわ・けんしゅう / 1957年生まれ  
慶應義塾大学商学部卒。同大学大学院博士課程修了後、防衛大学校教授・中央大学教授などを経て、2006年に慶應義塾大学商学部・商学研究科教授に就任。専門は新制度派経済学（組織の経済学）であり、なぜ組織は合理的に失敗するのか、そしてこの不条理からどのようにして抜けだせるのかを研究テーマとし、旧日本軍の事例などを用いて、理論的な解決法や哲学的な解決法について研究している。

### ■懇親会

- ・日 時 平成30年7月15日（日）  
午後12時半～14時半
- ・場 所 休暇村「能登千里浜」  
羽咋市羽咋町才70 ☎0767-22-4121
- ・会 費 5,000円（当日、会場にていただきます）
- ・アクセス 総会会場から懇親会会場まで、バスの送迎があります。



## 193名が新加入 同窓会入会式

2月9日、平成29年度同窓会入会式が母校視聴覚室で行われました。新入会員193人を前に、轟千栄子会長が歓迎のあいさつに立ち、笑顔で語りかけました。あいさつ要旨は以下の通り。



例年3年生のみなさんには2月に「同窓会クラス世話係」や入会金・終身会費の納入、新しい住所の届け出などのお願いを事務局から文章で届けていました。今年は同窓会長として初めて同窓会入会式に出席して入会のお願いや各支部の紹介をさせていただきました。羽高同窓会でのたくさんの若い力との出会いを楽しみにしています。（轟千栄子同窓会会長）

## 平成30年度 各同窓会・開催予定

| 名称      | 日時        | 会場                         |
|---------|-----------|----------------------------|
| 志賀羽松会   | 7月16日（祝）  | いこいの村能登半島                  |
| 羽松会富来   | 8月予定      |                            |
| 河北支部同窓会 | 未定        |                            |
| 石川県庁同窓会 | 未定        |                            |
| 関西支部同窓会 | 10月予定     | 大阪キャッスルホテル                 |
| 東海支部同窓会 | 10月27日（土） | ホテルルブラ王山                   |
| 関東同窓会   | 11月10日（土） | 東海大学校<br>友会館<br>(霞が関ビル35F) |
| 金沢支部同窓会 | 今年は開催なし   | 隔年開催                       |

### ■平成30年度 羽咋高校同窓会本部役員会のご案内

- ・日時 6月22日（金） 13:00～
- ・場所 羽咋高等学校・会議室

\*詳細は、各理事・評議員・学年幹事の皆様へ後日連絡いたします。

# ご協力者御芳名一覽 (順不同)

感謝 思いのこもった多くのご支援を賜り役員一同深く感謝申し上げます。

### 【高等女学校】

### 【高校1回】

- 井上辰子 菊川君代 中平一郎 三浦源治 松田慶二 安達和男 岡貢 中谷進 坂井貞夫 長沢豊磨 鳥毛茂信

### 【高校2回】

- 細川利夫 長浜恵美子 坂井拓 矢口千代昭 若松忠昭 東正憲 菊澤俊二郎 西部外喜雄 松本啓治 若狭昭 関塚ちえ子 牧野利英 高瀬勇虎 浜田明人 佐南谷賢竜 成田賢了 小笠原隆 濱田雅代 中川忠男 松尾園恵 松久田郁子 高橋三憲

### 【高校3回】

- 小林悦子 中村正 白藤順也 階島要蔵 階島剛 多村洋子 船登芳雄 岡嶋小義二 端義二 坂元満蔵 安江道子 猪野節夫 大野美登里

### 【高校4回】

- 橋本啓子 日野俊 松井昭弘 小田幸平 堀田隆吉 池田玲子 中村建治 橋本せき子 松本昭雄 前川義一 林初穂 蔵久美 永島猛司 島田悦子 永田義雄 高橋健

### 【高校5回】

- 安田信弘 松本庚子 山口日出次 高木真二 高橋真二 藤井保子 藤井信子 岡島重正 橋田惇子 越野宏 伊藤千恵子 坂下英子 山下栄子 海恵宏樹 藤岡敬 藤田定一 石崎真澄 中江佐治 大野美登里

- 松田奎吾 井上淳章 安達弘章 本田百合子 北山正人 嶋田久雄 田辺義昭 山口喜夫 山本真砂子 田中英子 伊東敏子 中谷進 坂井貞夫 長沢豊磨 鳥毛茂信 城戸久子 三井秀夫

- 高橋昭子 池田建明 名山良明 柳生秀一 水野拓 北山正人 北野美香子 寺島恵美子 日野満子 高見三余子 飯尾三朗 波木一之 小倉宏春 松中須磨子 武部真左子 宮城早苗 牛屋洋子 向永博

- 千才直良 森規矩直 伊藤和夫 酒井節雄 岡島仲子 堀田隆吉 池田玲子 中村建治 橋本せき子 松本昭雄 前川義一 林初穂 蔵久美 永島猛司 島田悦子 永田義雄 高橋健

- 和山輝一郎 伊東絹子 浅野淳子 北野美香子 寺島恵美子 日野満子 高見三余子 飯尾三朗 波木一之 小倉宏春 松中須磨子 武部真左子 宮城早苗 牛屋洋子 向永博

- 津田秀雄 宮上義仁 酒井彰 深川富美子 田口嘉夫 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博

- 宮下秋栄 池田和枝 元永利和 小浦洋子 須磨伊佐男 西村登美子 山崎茂雄 櫻井登 水野裕 坂本勉 橋本俊一 勝二幸子 安地博



# 羽高魂 スポーツ・文化活動の軌跡

■総体結果 前期5月25〜27日 後期6月1〜4日

陸上競技部 優勝 西谷内 凌  
 槍投 2位 本田 涼太  
 三段跳 2位 今江 豪士  
 (以上、北信越大会出場)

110mH 7位 釜谷 拓摩  
 剣道部 優勝  
 女子団体 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)  
 個人 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)

弓道部 3位 西谷 莉々加  
 個人 (北信越大会出場)

空手道部 3位 本田 涼太  
 男子団体組手 3位  
 女子団体組手 3位  
 なぎなた部 優勝

女子団体試合 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)  
 個人演技競技 2位 田島・米田組  
 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)

3位 久木・中村組  
 5位 松田・中山組  
 6位 飯川・山田組  
 (以上、北信越大会出場)

個人試合競技 優勝 中村 綾里  
 2位 米田 朱里  
 (以上、北信越大会出場)

少林寺拳法部 優勝 前田 陸空  
 男子単独演武 優勝 畑山 潤介  
 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)

ボクシング部 優勝 前田 陸空  
 男子バンナム級 (北信越大会出場、インターハイ出場権獲得)

将棋部 3位 藤田 悠斗  
 男子個人  
 英語部 3位 藤田 悠斗  
 ステージパフォーマンス部門 優秀校

■北信越大会 6月17日、18日

陸上競技部 3位 西谷内 凌  
 槍投 4位 本田 涼太  
 (以上2名、インターハイ出場権獲得)

剣道部女子 ベスト8  
 団体戦 4位 西谷莉々加  
 弓道部 3位 西谷 莉々加  
 女子個人 3位 西谷 莉々加  
 なぎなた部 優勝 中村 綾里  
 個人試合競技 3位 中村 綾里  
 少林寺拳法部 3位 畑山 潤介  
 単独演武 2位 前田 陸空  
 ボクシング部 2位 前田 陸空  
 バンナム級

■新人大会結果 前期9月14〜17日 後期11月9〜11日

陸上競技部 1位 本田 涼太  
 やり投げ 3位 釜谷 拓磨  
 110mH 3位 釜谷 拓磨  
 (以上、北信越大会出場)

卓球部 ベスト16 森田 真帆  
 女子シングルス 3位  
 剣道部 3位  
 男子団体 (北信越大会出場)  
 女子団体 優勝  
 女子個人 (北信越大会出場)

1位 山本 純菜  
 2位 横町 柳里佳  
 3位 横山 夢乃  
 (北信越大会出場)

弓道部 2位  
 女子団体 (北信越大会出場)

なぎなた部 3位 飯川・中山組  
 試合競技団体 2位 山田・谷口組  
 演技競技 3位



空手道部 3位  
 男子団体形 (北信越大会出場)  
 女子個人組手 3位 岡野 りの  
 (北信越大会出場)

少林寺拳法部 1位 畑山 潤介  
 男子単独演武 (全国選抜大会出場)

弓道部 2位 飯川・中山組  
 平成29年度高校弓道冬季錬成大会  
 女子団体 2位 (B) チーム  
 なぎなた部 2位 久木 祐奈  
 えひめ国体少年女子

吹奏楽部 第52回石川県アンサンブルコンテスト  
 フルート二重奏 金賞  
 打楽器三重奏 銀賞  
 将棋部 第26回将棋新人大会県予選  
 1位 藤田 悠斗  
 (全国大会出場)

■北信越大会結果

陸上競技部 2位 本田 涼太  
 やり投げ 7位 釜谷 琢磨  
 110mH 7位 釜谷 琢磨  
 弓道部 3位  
 女子団体 3位  
 野球部 第137回北信越地区  
 高等学校野球石川県大会  
 準々決勝進出(ベスト8)

■その他の試合結果

陸上競技部 第72回石川県耐寒継走大会七尾大会  
 高校一部男子 2位  
 野球部 第72回石川県耐寒継走大会七尾大会  
 高校二部男子 1位  
 剣道部 第43回黒潮旗武道大会  
 女子団体 優秀賞 横山 夢乃  
 優秀選手賞

新聞部 第66回石川県高等学校新聞コンクール  
 総合の部 優良賞  
 部門の部 企画賞  
 第63回青年読書感想文石川県審査会高等学校の部  
 入賞 中多 萌・谷口暖人  
 中江幹葉・山下珠莉  
 平成29年度いしかわ高校科学クラブ  
 総合 2位 ひよこ組  
 (入江、安達、岡田、釜谷、本吉、中野)  
 実技・実験系 1位 ひよこ組  
 実技・総合系 2位 ひよこ組

文化部のコンクール結果

吹奏楽部 第52回石川県アンサンブルコンテスト  
 フルート二重奏 金賞  
 打楽器三重奏 銀賞  
 将棋部 第26回将棋新人大会県予選  
 1位 藤田 悠斗  
 (全国大会出場)

新聞部 第66回石川県高等学校新聞コンクール  
 総合の部 優良賞  
 部門の部 企画賞  
 第63回青年読書感想文石川県審査会高等学校の部  
 入賞 中多 萌・谷口暖人  
 中江幹葉・山下珠莉  
 平成29年度いしかわ高校科学クラブ  
 総合 2位 ひよこ組  
 (入江、安達、岡田、釜谷、本吉、中野)  
 実技・実験系 1位 ひよこ組  
 実技・総合系 2位 ひよこ組

文化部のコンクール結果

吹奏楽部 第52回石川県アンサンブルコンテスト  
 フルート二重奏 金賞  
 打楽器三重奏 銀賞  
 将棋部 第26回将棋新人大会県予選  
 1位 藤田 悠斗  
 (全国大会出場)

新聞部 第66回石川県高等学校新聞コンクール  
 総合の部 優良賞  
 部門の部 企画賞  
 第63回青年読書感想文石川県審査会高等学校の部  
 入賞 中多 萌・谷口暖人  
 中江幹葉・山下珠莉  
 平成29年度いしかわ高校科学クラブ  
 総合 2位 ひよこ組  
 (入江、安達、岡田、釜谷、本吉、中野)  
 実技・実験系 1位 ひよこ組  
 実技・総合系 2位 ひよこ組

## 新校長に釜親 徹氏



釜親 徹 校長 略歴

- 昭和58年3月 金沢大学理学部数学科卒業
- 昭和58年4月 明和養護学校 教諭
- 昭和61年4月 野々市市明倫高等学校 教諭
- 平成9年4月 金沢錦丘高等学校 教諭
- 平成18年4月 県教育委員会教職員課 管理主事
- 平成21年4月 県教育センター 主任指導主事
- 平成22年4月 金沢桜丘高等学校 教諭
- 平成25年4月 金沢錦丘高等学校 主幹教諭
- 平成25年9月 金沢錦丘高等学校 教頭
- 平成28年4月 金沢二水高等学校 教頭
- 平成29年4月 金沢錦丘高等学校 副校長

## 平成30年度教職員人事異動

平成30年4月1日付

■退職

|    |       |  |
|----|-------|--|
| 理科 | 井表 円美 |  |
| 英語 | 油井 智子 |  |
| 英語 | 山本 君枝 |  |

■転出 転出先

|       |       |            |
|-------|-------|------------|
| 校長    | 前田 一弘 | 金沢桜丘高校校長   |
| 教頭    | 木田 肇  | 医王特別支援学校校長 |
| 国語    | 飯田 泰春 | 金沢西高校 主幹教諭 |
| 国語    | 佐野 雅明 | 志賀高校       |
| 国語    | 村田 奈央 | 金沢北陵高校     |
| 地歴・公民 | 寺井 啓人 | 金沢錦丘高校     |
| 地歴・公民 | 飯澤 稔信 | 他県へ        |
| 数学    | 糺 祐樹  | 志賀高校       |

■転入 転入元

|       |       |        |
|-------|-------|--------|
| 数学    | 釜親 徹  | 金沢錦丘高校 |
| 数学    | 岩城 利之 | 羽松高校教頭 |
| 国語    | 門間 容子 | 金沢伏見高校 |
| 国語    | 甲野 和美 | 門前高校   |
| 国語    | 江尻 成治 | 新採     |
| 地歴・公民 | 藤澤 恒  | 七尾高校   |
| 理科    | 中口 憲  | 金沢錦丘高校 |
| 英語    | 若林 淳子 | 津端高校   |
| 英語    | 窪 尚子  | 金沢西高校  |
| 理科    | 国門 源量 | 鹿西高校   |